

春の装い—日本画で彩る花とひと

会 期 2002年1月26日(土)～3月24日(日)

「春」—この明るく暖かな響きを古くから日本人は愛してきました。葉を落とした木々に春の息吹を感じ、湿り気を帯びた雪に春の足音を見出すのは、春を待つ想いであり、日本人独特の細やかな感性といえます。また、冬の只中でありながら、新しい年を迎えると「新春」「初春」といった言葉を使うのも、そうした心の表われでしょう。開館第2回展である本展は、こうした春に向かう華やかな心を描いた日本画作品54点を展覧することで、ひと足早く春を感じていただくとするものです。

春は日本画に相応しい画題が多くみられます。梅は「百花の魁」と言われて清らかな姿と香りが人々に好まれ、桜はその優美なさまと潔い散り際に私たちを魅了し、日本を代表する花として描かれています。雪を頂く富士の崇高なたたずまいや昇りゆく朝日は、吉祥画として多くの画家が手がけており、和装姿の女性も春を写しているといえるでしょう。

安田鞞彦《紅梅》や中島千波《夢殿の枝垂桜》に描かれた艶やかな花の彩り、横山大観《朝陽映島》、上村松園《春の野図》や伊東深水《春宵（東おどり）》にみる春を寿ぐ心など、43作家による春の競演をお楽しみください。

会 場 高崎市タワー美術館（370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773）

時 間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

金曜日のみ午前10時～午後8時（入館は午後7時30分まで）

休 館 日 毎週月曜日（2/11は開館）・祝日の翌日

観 覧 料 一般：500円（400円）、大高生：300円（250円）、中小生：200円（150円）

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企画協力 山種グループ